

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	保育園運営事業	白川町	28,378,500	19,733,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	保育園運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		白川町		
交付金事業実施場所	白川町 和泉 坂ノ東 切井 黒川 佐見 地内			
交付金事業の概要	白川町立保育園運営事業(保育士給与) (N=16名)			
総事業費	28,378,500	交付金充当額	19,733,000	
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	19,733,000	
交付金事業の成果目標	<p>白川町は第5次総合計画として、平成32年度までに更なる子育て環境の充実を図ろうとしています。そのため、未満児保育や障害児保育等の実施で臨時職員を増員しており、運営人件費は増加しています。また、少子化対策の一環として出産育児給付金や保育料の軽減、中学校までの医療費を無料にする政策を行っています。そうしたサービスの中、提供側となる保育士の処遇を改善することで、更なる質の高い保育や子育て支援の実現につながると考えています。こうしたことから、本交付金を活用して保育士の処遇改善の一助とし、子どもや保護者は勿論、保育士が暮らしやすい環境作りを目標とします。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>本交付金事業によって成果目標を達成するためには、保育士の質の向上につながる処遇改善が必要となります。本交付金を活用し、給与改善の取組を行うことで保育士の勤労意欲の向上を図ることから、各保育園の環境改善をすることとします。また、この取組を広くPRし、保育士定員の増加や、入園希望者を増やします。(平成29年度定員16名、増加定員予定1名)</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>本交付金の活用により、白川保育園と黒川保育園の保育士をそれぞれ1名採用し、育児休暇の職員を除き、定員を16名と増員することができ、(H28年度定員15名)その職員の給与7ヶ月分の確保ができました。広報誌にて、国から県を通じて本町に交付される本交付金で、保育士の処遇改善に取り組んでいる記事を載せたところ、対象職員から本交付金への感謝とこれからも保育士として本町で勤めていく励みになったとの声がありました。</p> <p>今後も本交付金を財源として、保育士の更なる処遇改善を行い、未来ある子どもにとって質の良い環境を整えていきます。そのために地域住民や保育士への理解促進を図っていく予定です。</p> <p>また平成32年度の第5次総合計画終了後も子育て環境の充実を図る予定ですので、平成33年度に改めて評価を実施します。</p>			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	人件費	雇用	保育士16名	28,378,500
	計			
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33